

No.	024	—	1001	事務事業名	成人式開催事業		細事務事業名			公的関与	8
-----	-----	---	------	-------	---------	--	--------	--	--	------	---

PLAN

課名	生涯学習課		係名	社会教育係		電話番号	089-964-1500		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp	
事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし
総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち			政策項目	2 青少年の健全育成			主要施策		
事業の対象	東温市内在住又は出身の新成人該当者					根拠法令					
事業の目的	最終的	新成人の門出を祝福する式典を行い、次代を担う青年の健全育成を図る。				今年度	新成人自らが、成人式を企画・運営し実施する。				
活動内容	①	成人式実行委員会の設置				④	式典の運営				
	②	成人式の内容等についての協議				⑤					
	③	恩師への案内状の作成									
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標	
	成人式参加割合		参加者数／案内者数			%	目標	1	1	1	80
							実績	1	1		
							目標				
							実績				
							目標				

DO

予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費		
直接事業費		平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考			
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円					
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円					
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円					
	一般財源	847 千円		834 千円		1,080 千円					
	計(A)	847 千円		834 千円		1,080 千円					
人件費(B)	正職員工数・経費	0.199 人	1,196 千円	0.199 人	1,220 千円	0.199 人	1,242 千円				
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円				
全体事業費(A+B)		2,043 千円		2,054 千円		2,322 千円					

CHECK・ACTION

一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	成人になったことを祝福し、成人としての自覚を持ってもらうため、市が実施すべき事業である。												
有効性	各自治体で成人式は行われており、今後も継続して実施したい。												
達成度	参加率は年により異なるが、毎年70%前後で推移している。												
効率性	式典は全対象者を一会場に一斉に集め実施しており、効率よく実施できていると考える。												
当面の課題	令和4年4月1日から成人年齢が18歳に引き下げられることから、成人式の対象年齢や実施場所、実施方法などを検討する必要がある。												
改 革 計 画	令和4年度以降の成人式の実施方法について、令和2年東温市成人式において新成人へもアンケートを行うなどし、検討を重ねていきたい。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項		長年継続してきている成人式は、参加者個人にとっては一生に一回の晴れのイベントでもあり、伝統の継続の重要性を感じます。一方で、出席者の減少や、実行委員のなり手不足など、少子化の影響や、多様なライフスタイル、県外への進学・就職の影響もあることから、18歳成人年齢引き下げを視野に、今後の継続を検討する必要があります。											

No.	024	—	1006	事務事業名	Jr. リーダー育成講座事業	細事務事業名		公的関与	8
-----	-----	---	------	-------	----------------	--------	--	------	---

PLAN	課 名	生涯学習課	係 名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業	事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	3 生涯学習社会の推進	主要施策	(1) 学び合い 高めあう生涯学習の推進			
	事業の対象	東温市内の中学生				根拠法令				
	事業の目的	最終的	新しい時代を切り拓く積極的な心を育て、次代の指導者として育成します			今年度	体験学習を通し、仲間や地域の人々との連帯感を深め、一人ひとりの自己教育力の確立を目指します			
	活動内容	①	小学生(わんぱく広場参加者)を引率しての登山				④	成人式を通じた接遇体験		
		②	宿泊体験				⑤	主権者教育		
		③	夏季教育キャンプ							
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標
		講座参加者数		参加者の実数		人	目標 30	30	30	30
					実績 12	13				
					目標					
					実績					
					目標					

DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費	
	直接事業費		平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備 考					
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円						
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円						
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円						
		一般財源	386 千円	181 千円	341 千円						
		計(A)	386 千円	181 千円	341 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.298 人	1,792 千円	0.298 人	1,827 千円	0.298 人	1,860 千円			
		臨時職員工数・経費	0.099 人	195 千円	0.100 人	199 千円	0.100 人	199 千円			
	全体事業費(A+B)		2,373 千円		2,207 千円		2,400 千円				

CHECK・ACTION	一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	学校や学年を超えたこのような活動を行う事業は他市町でも珍しく、学校単位でなく市にしか実施出来ないため実施する意義があります。次代の指導者の育成は今後のために必要ですが、参加者増のために改善すべき点があります。												
	有効性	自主性や協調性を育てるのに有効な事業です。また、進級後も続いて受講してくれる生徒も多いため、活動内容は毎年見直しており、たとえば宿泊研修のような同じ系統の活動でも違った体験ができるように内容に手を加えています。												
	達成度	微増はしていますが、いまだ設定目標からは大きく離されており、参加者拡大のために体験内容の見直しや、周知・募集方法の工夫が必要です。												
	効率性	適切に参加者に費用の自己負担も課し、なるべく予算を使用しない方法で実施しています。また、今後は他課との共同事業も取り入れ、さらに効率化を図っていきたく考えています。												
	当面の課題	参加者を増加させることが最大の課題で、設定目標に近づけるよう体験内容や周知・募集方法を検討する必要があります。また、回数の関係で活動の実施が無い月が生じるが、雨天中止となる活動があった場合にはさらに空白期間が開くことになるため、雨天でも代替事業ができる活動にする、空白期間が長くないように実施日を調整して配置するなど配慮する必要があります。												
	改 革 計 画	中学生の興味を引くことと講座により受講生が成長できること、それぞれを両立できるような事業内容を検討する。また、天候によらない内容や、雨天時の対応についても検討する。												
	二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
	二次評価での指摘事項	中学生には部活動・受験などさまざまな点で多忙となっている状況がありますが、学校生活や日常では体験できにくい内容を精査して、より多くの参加者を募るべきかと考えます。通年の講座ではありますが、途中参加や講座単位などの参加も考慮し、計画的なカリキュラムを工夫すべきと思います。												

No.	024	—	1016	事務事業名	社会人権同和教育事業	細事務事業名		公的関与	4
-----	-----	---	------	-------	------------	--------	--	------	---

PLAN	課 名	生涯学習課	係 名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし
	総合計画	政策目標	第5章 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	1 人権尊重のまちづくりの推進		主要施策	(1) 市民のすべてが実践する人権教育の推進		
	事業の対象	東温市民				根拠法令	部落差別の解消の推進に関する法律				
	事業の目的	最終的	市民一人ひとりが人権を尊重する差別のないまちを目指す。				今年度	講演会や研修会を積極的に開催し、関係機関との連携を図りながら、人権教育や啓発活動を推進する。			
	活動内容	①	6月22日(金) 第1回人権ゼミナール				④	12月9日(日) 人権を語る集い			
		②	8月24日(金) 人権講座(兼教職員人権・同和教育研修)				⑤	人権啓発リーフレットの作成・配布			
		③	9月21日(金) 第2回人権ゼミナール								
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標	
		講座参加者数		参加者の実数		人	目標	800	800	800	1,000
					実績	763	679				
					目標						
					実績						
					目標						

DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費		
	直接事業費		平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備 考				
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円					
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円					
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円					
		一般財源	3,044 千円	2,935 千円	3,289 千円					
		計(A)	3,044 千円	2,935 千円	3,289 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.119 人	715 千円	0.119 人	730 千円	0.119 人	743 千円		
		臨時職員工数・経費	0.838 人	1,654 千円	0.838 人	1,663 千円	0.838 人	1,665 千円		
	全体事業費(A+B)		5,414 千円	5,328 千円	5,697 千円					

CHECK・ACTION	一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決をめざし、多様な研修の場を提供して人権教育の充実と啓発活動の推進を行った。												
	有効性	人権尊重社会の確立に向けた継続した様々な取り組みが必要である。												
	達成度	参加者の減少がみられる。												
	効率性	協議会への補助金がほとんどであるが、活動内容に対して適当な額である。												
	当面の課題	同和問題をはじめとする様々な人権問題・課題を解決するために、リーダーとなる人材の育成が必要である。												
	改 革 画	講演会や研修会を積極的に開催し、関係機関等との連携を図りながら、人権教育や啓発活動を推進する。												
	二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
	二次評価での指摘事項	東温市人権教育協議会を組織して事業を行っていますが、嘱託職員1名で行っているため、発展的な活動が行えていない状況で参加者の減少など影響も出ています。今後は、課員の支援も更に強化し、人権・同和問題の解決に向けた啓発事業を推進する必要があります。												

No.	024	—	1043	事務事業名	花いっぱい運動運営事務	細事務事業名		公的関与	8
-----	-----	---	------	-------	-------------	--------	--	------	---

PLAN	課 名	生涯学習課	係 名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(1) 学び合い 高めあう生涯学習の推進			
	事業の対象	ボランティア参加者					根拠法令					
	事業の目的	最終的	分館や公共施設等が花いっぱいになるように、また分館でのボランティア参加者が増え分館の活性化を図ります。				今年度	全分館から参加者を募ります。				
	活動内容	①	春と秋に中央公民館で花の苗のさい芽、種まきからポットに移植、定植をボランティアにより作業を行います。					④				
		②	花苗を各地区の公民館や学校、公共施設等に配布して市内の美観活動を行います。					⑤				
		③										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標	
		ボランティア参加者		参加者延べ人数			人	目標	500	500	500	500
						実績	360	383				
						目標						
						実績						
						目標						

DO	予算費目	会計	一般会計				費目名	教育				費	
	直接事業費		平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備 考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	180 千円	170 千円	180 千円								
		計(A)	180 千円	170 千円	180 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.033 人	65 千円	0.033 人	66 千円	0.033 人	66 千円					
	全体事業費(A+B)		245 千円		236 千円		246 千円						

CHECK・ACTION	一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	活動に市が関わり、学生のボランティア参加者に活動の意識を考えさせ、市民の美化への意識の向上を図ることができます。												
	有効性	花苗を分館や学校に配布することで地域住民のコミュニティの場となっています。												
	達成度	事業は天気に左右されるが、予定どおり実施できました。今後も社会教育団体等への協力を検討していく必要があります。												
	効率性	花苗は種子から育てコスト削減を図り、土づくりに工夫をしています。												
	当面の課題	地域住民の参加者が低迷しており、募集、周知、実施方法を見直す必要があります。												
	改 革 計 画	自治公民館活動の活性化に繋がることから、各分館及び学生ボランティアの参加者の確保に努めます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善	
二次評価での指摘事項	活動内容自体は、住民(分館)や学生の参加がありとてもよい事業です。更なる活動拡大に向けて市民周知を更に行ってまいります。													

No.	024	—	1044	事務事業名	中央公民館管理事業		細事務事業名			公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	-----------	--	--------	--	--	------	---

PLAN	課 名	生涯学習課	係 名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	昭和 56 年度	～	期間設定なし
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(1) 学び合い・高めあう生涯学習の推進		
	事業の対象	施設利用者				根拠法令	社会教育法、東温市公民館条例等				
	事業の目的	最終的	施設利用者が安全、快適に使用できるように、維持管理に努めます。				今年度				
	活動内容	①	中央公民館施設管理業務				④	中央公民館備品管理業務			
		②	中央公民館運営業務				⑤	中央公民館の清掃業務			
		③	中央公民館施設利用受付業務								
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標	
		一日当りの利用者数		延べ利用者数／開館日数		人	目標	160	160	160	200
					実績	141	145				
					目標						
					実績						
					目標						

DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費		
	直接事業費		平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備 考				
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円					
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円					
		その他特定財源	1,475 千円	1,005 千円	1,146 千円					
		一般財源	14,055 千円	13,915 千円	14,794 千円					
		計(A)	15,530 千円	14,920 千円	15,940 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	1,000 人	6,012 千円	1,000 人	6,131 千円	1,000 人	6,241 千円		
		臨時職員工数・経費	2,425 人	4,787 千円	2,425 人	4,814 千円	2,425 人	4,818 千円		
	全体事業費(A+B)		26,329 千円	25,865 千円	26,999 千円					

CHECK・ACTION	一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	生涯学習の拠点として必要不可欠です。												
	有効性	生涯学習推進において、施設管理は必要です。												
	達成度	活動の場として提供できています。												
	効率性	公民館の維持管理費のコスト削減に取り組めます。												
	当面の課題	JIS基準設計照度の範囲内ではあるが、部屋によっては、暗く感じる部屋があるため、照明をLED化に変更し、照度及び利用者の利便性を考える必要があります。												
	改 革 計 画	整備計画を作成し、公民館の円滑な管理運営を図ります。												
	二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	二次評価での指摘事項	東温市民の生涯学習活動の場として川内公民館と並んで重要な拠点施設となっています。 また、市をはじめ各種団体の会議・会合などにも盛んに利活用されており、今後もその役割はますます重要となることから、適切な維持管理と貸館運用をしていく必要があります。												

No.	024	—	1064	事務事業名	公民館主催事業	細事務事業名	さくら講座開催事務	公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	---------	--------	-----------	------	---

PLAN	課 名	生涯学習課	係 名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち			政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(1) 学び合い 高めあう生涯学習の推進		
	事業の対象	市民				根拠法令	社会教育法、東温市公民館条例					
	事業の目的	最終的	市民の学習ニーズを把握し、学級講座を開催。学んだ成果を自分自身(市民)に生かしていただくとともに、地域社会にも還元できるような努めます。				今年度					
	活動内容	①	遺跡めぐり				④	星空教室				
		②	イタリアン料理教室				⑤	メッシュクラフト体験				
		③	スマホ講座									
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標	
		講座参加者	参加人数	人	目標	100	100	100	100			
実績					77	78						
				目標								
				実績								
				目標								
	実績											

DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費	
	直接事業費		平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備 考					
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円						
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円						
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円						
		一般財源	75 千円	83 千円	86 千円						
		計(A)	75 千円	83 千円	86 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円			
		臨時職員工数・経費	0.021 人	41 千円	0.021 人	42 千円	0.045 人	89 千円			
	全体事業費(A+B)		116 千円		125 千円		175 千円				

CHECK・ACTION	一次評価者	社会教育係	総合評価点	D	必要性	3	有効性	2	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	市民ニーズを把握して、市民の身近な関心事を学級・講座にすることにより、市民に地域の魅力を再発見していただくことにより、魅力ある地域社会づくりに寄与できます。												
	有効性	市民ニーズを把握するとともに、魅力ある学級・講座となるよう検討していく必要があります。												
	達成度	継続して参加したいという参加者も多いが、講座内容によっては参加者が少ない場合があり、参加人数が伸び悩んでいます。												
	効率性	ターゲット年齢層を絞り講座を開催した際、中には定員割れる講座もあり、魅力ある講座を提供する必要があります。												
	当面の課題	市民の学習ニーズを把握し、学んだ成果を自分自身(市民)に生かしていただくとともに、地域社会にも還元できる講座内容の検討が必要です。												
	改革計画	みんなで講座をつくり、みんなで学習をつくる、トップダウンの学習ではなく、ボトムアップの学習を実現する。アンケート調査以外に公民館利用団体等へ窓口などで要望を聞き取り学習ニーズの把握に努めます。												
	二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
	二次評価での指摘事項	さくら講座は川内公民館が担当のため川内地区の中高年の参加者が多く、中央公民館主催の東温カレッジと対をなす重要な事業です。川内地区ならではのコンパクトな講座として人気もあることから、魅力的な講座を立案し、募集都度の参加者の増を目指していきたいと考えています。												

No.	024	—	1066	事務事業名	川内公民館管理事業		細事務事業名			公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	-----------	--	--------	--	--	------	---

PLAN	課 名	生涯学習課	係 名	社会教育係	電話番号	089-966-4721	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(1) 学び合い・高めあう生涯学習の推進		
	事業の対象	施設利用者					根拠法令	社会教育法、東温市公民館条例等			
	事業の目的	最終的	施設利用者が安全、快適に使用できるように、維持管理に努めます。				今年度				
	活動内容	①	川内公民館施設管理業務				④	川内公民館備品管理業務			
		②	川内公民館運営業務				⑤	川内公民館清掃業務			
		③	川内公民館施設利用受付業務								
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標	
		一日当たりの利用者数		延べ利用者数 / (開館日数 × 公民館数)		人	目標 120	120	120	120	
					実績 91	80					
					目標						
					実績						
					目標						

DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費		
	直接事業費		平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備 考				
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円					
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円					
		その他特定財源	554 千円	539 千円	573 千円					
		一般財源	20,010 千円	20,384 千円	22,106 千円					
		計(A)	20,564 千円	20,923 千円	22,679 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.347 人	2,086 千円	0.347 人	2,127 千円	0.347 人	2,166 千円		
		臨時職員工数・経費	1.678 人	3,312 千円	1.678 人	3,331 千円	1.678 人	3,334 千円		
	全体事業費(A+B)		25,963 千円	26,381 千円	28,179 千円					

CHECK・ACTION	一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	地域の中で生涯学習推進の中核施設であり、人づくり・地域づくりの拠点として重要な役割を担っています。												
	有効性	人々の暮らしの向上と社会の持続的発展に向けた地域課題解決のために、学びの推進を図る必要があり、公民館は学習活動の拠点として重要な役割を担っています。												
	達成度	すべての人が学び、活躍できる学習拠点の場として、活用されています。												
	効率性	人口減少や高齢化の進展、地域コミュニティの弱体化等の変化の激しい社会状況の中で、実施手段等を改めて検討する必要があります。												
	当面の課題	建物の老朽化により、修繕検討すべき箇所が数カ所あるが、修繕費用に限りがあるため、老朽箇所の修繕を計画的に進める必要があります。												
	改 革 計 画	修繕計画を作成し、公民館の円滑な管理運営を図っていきます。												
	二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	現状維持
	二次評価での指摘事項	公民館としての貸館業務は、主に川内地区の住民活動の場となり、有効に活用されています。ただし、設備の老朽化もあり、維持管理コストが年々上昇しています。より安価で合理的な修繕や、予防対応に努めてまいります。管理コストが中央公民館より高額である点は、ESCO事業によるもので致し方ないと考えます。												